

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	秦皇山施設管理運営事業			
予算科目	7 款 1 項 5 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 観光の振興			
所管課情報	担当課: 商工観光課		電話番号(内線): 967-1111(143)	
記入者情報	所属長: 米湊 誠二		担当責任者: 宮田 哲二	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	一般利用者(余暇・観光・自然志向者)			
根拠法令等				
事業の目的	秦皇山森林公園の持つ豊かな自然、美しい360° パノラマ風景を活かし、滞在型レクリエーション施設整備、管理運営により都市住民と地域住民との交流に寄与する			
事業の内容	休養センター・ログハウス・キャンプサイト及びレクリエーション施設並びに森林公園の管理運営			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	市内観光施設と連携してPR活動に努め、利用者増につなげる。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	4,521	5,060	1,748	4,262
	人件費	959	976	488	976
	合計	0	6,036	2,236	5,238
人件費 内訳	人工数	0.12	0.12	0.06	0.12
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	959	976	488	976
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	5,480	6,036	2,236	5,238

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
管理委託	千円	2470	2510	1100	2510
施設維持修繕・管理費等	千円	499	300	38	38
ログハウス等利用者	人	1143	1500	1780	1876

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	4,666	5,000	5,000	5,000	5,000	24,666

成果指標				
成果指標	施設使用料金を納付した施設の利用者数			
指標設定の考え方	施設の利用者は、施設使用料金を納付した施設の利用者と秦皇山への入り込み客とに区分されるが、行政評価では、施設使用料金を納付した施設の利用者数を設定			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	1700人	1700人	1800人	0
実績	1143人	1876人	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市ホームページや観光パンフレットでのPRにより、利用者の増加につながった。ただし、施設が平成元年建設以来、老朽化により、施設・設備の改修の必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市内でも寒冷地であるために、積雪や凍結などにより通年オープンができないために、利用率に限界を生じている。また、施設の老朽化により毎年修繕箇所が発生しており、施設管理面では一部経費負担が生じている。しかしながら、森林公園としての利用価値や体験効果も大きいことから、今後も効率的な運営を行う必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題